

青森県大会 競技種目 アドバンスクラス演技要領 (2015年版)

- * パイロット開始位置 : ヘリパッド中央から9m離れたパイロットサークル内に立つ。
(FAI F3Cクラスと同じ位置) 終了まで移動は無い。
 - * 機体開始位置 : ヘリパッド中央指定位置に出場者自身、もしくは助手が運搬して、機首方向を風上に向け置く。またはスタートサークルから飛行させ、ヘリパッド上に着陸させる。(移動時の高度は2m)
飛行移動の場合、一度だけ、着地後に人の手で位置を修正してよい。
開始方向は風上に機首を正対した状態。(側面離陸させる)
 - * エンジン始動 : 場内スタートサークル内で行い、直前の競技者の④2ループ終了までに合わせて始動し、待機しておく。
 - ・スタートサークルではアイレベルホバリングまで行って良い。
ここでは180°を超えるピルエットをしてはならない。
 - 注) 前競技者のオートローテーション開始前には機体は接地し、かつエンジンはアイドルまで下がっていること。始動が間に合わない場合は前競技者の機体着陸終了後に行うこと。
- ①4ポイントピルエット: 離陸し、アイレベル2秒停止後、ヘリパッド中央で左右任意の方向へ90° づつ停止を伴った360°、1回転するピルエットを行う。
- ・この側面離陸は採点対象。
 - ・左右回転方向は任意方向で良い。
 - ・各ポイントでの停止は1秒程度。
 - ・元の風上側に機首方向が戻り、2秒停止して終了。
 - 注) 着陸せず、引き続き②水平エイトを行う。
- ②水平エイト: ①終了のヘリパッド上でホバリングしたまま、機首方向を90° 回転させ奥側/場内正面に向け、2秒停止した後開始する。
- ・左右共に直径10mの円を低速前進飛行で描く。高さアイレベル。
 - ・ヘリパッド中央、各コーナーフラッグ上、ヘリパッド中央から真横に10m地点の仮想点上を通過する真円となる。
 - ・右円からの開始を標準とする。
 - ・コールはスタート&フィニッシュのみ。開始・着陸までのタイミングは全て競技者自身の判断で行う。
 - ・ヘリパッド上に戻った後、2秒停止し、次の離陸のため機首方向を90° 回転させ風上側にし、ヘリパッドに側面着陸する。
 - ・この着陸は採点対象。
- * * 上空移行時の離陸は採点対象とならない。2ロールコールの前もしくは後に各自判断で離陸し、この後の上昇経路とターン方法は自由。

- ③2ロール:風上から直線に進入し、中央で均等に2分する2回のロールを行う。
- ・高度20～30m。
 - ・ロール開始前と終了後に10m以上の水平直線部があること。
 - ・回転方向任意。同方向連続、左右切り換えし、いずれでも良い。
 - ・それぞれのロールは均等な長さで、中央では機体が正立状態であること。

- ④2ループ:③終了後、風下でターンし、折り返して来て中央で2回のループを行う。
- ・中央を中心とする同直径・同心円である。
 - ・ループ開始前と終了後に10m以上の水平直線部があること。

***この④→⑤間に風上から風下側へのデッドパスを一度行う。

- ⑤オートローテーション着陸:風下から進入し、前進速度を持ったまま開始し、オートローテーションによる直線降下及び着陸を行う。
- ・エンジン停止はしないこと。
 - ・前進速度と降下速度の比は終始一定で、経路は直線であること。
 - ・開始高度と角度は指定しない。
 - ・不適切な降下・進入経路と判断した場合は迷わずオートローテーション降下を中止し、パワーによるリカバリーを行うこと。

注1)飛行経路を無理に変更し、ヘリパッド中央を狙うことが必ずしも得点に有利ではない。(FAI F3C ルール「5 E . 4 演技の審査基準」参照)

注2)オートローテーションとみなされない着陸は、指定外方法による着陸となり、いかなる場合も最大50%得点となる。

* 言い換えると、本大会のこの競技種目に限っては、指定であるオートローテーション着陸を行わなくとも無得点にはならない。安全なオートローテーション着陸が行えないと判断する競技者は、別の進入・着陸方法を取ることが出来、こちらを推奨する。この別の着陸方法について特に指定はしない。進入着陸、または風下側から水平進入後に着陸など、安全なものであればよい。(オートローテーション降下を行わない場合は、競技開始前にジャッジとコーラーにこれを宣言すること。)

注3)「スタート」コールはオートローテーション降下開始直後に行う。

以上